



# こども教育学だより

鈴鹿大学こども教育学部通信 07号

## こども教育学部2期生スタート

4月2日、鈴鹿大学入学式がありました。満開の桜のなか、全体での式が行われました。その後、学部ごとに集まりました。こども教育学部は、授業や実習が行われる1棟で学部専任教員からの自己紹介とお祝いメッセージが披露されました(右)。

こども教育学部・教員も決意新たに2期生を迎えた「こども教育学部」今年度新たに着任した先生方を含め、専任教員でミーティング。学部の学生さんのために、どのようにすべきか、今年度の運営他を確認し、意見交換。それぞれの教育に対する情熱を共有しました。その後、桜吹雪のなか、和気あいあいと記念写真撮影(右ページ上段)。(通りかかった1年生に撮影をお願いしました。感謝)1・2年生の皆さん、一緒に一年間、楽しく過ごしましょうね。(学部長 川又俊則)



オリエンテーションでの教員紹介

## 授業紹介

### こども学概論

杉山佳菜子



こども学概論では、保育学・教育学・児童福祉学・発達心理学などの学問でこどもをどのように捉えているかを学びます。この日は“子どもになりきろう”の演習をしています。こどもの視野になるお面をつけて、赤ちゃんと同じにぎり持ちで摂食体験をしています。見えない!食べられない!と大騒ぎでした。このような体験を通して、こどもの視点に立った保育や支援を考えるトレーニングを積んでいきます。

### 介護等体験

大野泰子



教員免許(保健)を希望している学生には、必ず行なう実習があります。特別支援学校2日、社会福祉施設5日間の体験を通じて、他者へのケアを学び、障がい者の理解を深めることを目的としています。4月20日の授業では、ハンディ理解の疑似体験を行いました。学生の感想から、視野が狭いメガネをかけた階段昇り降りは足元がわかりにくい、手を引いてもらい、声掛けがあると安心できる。錘をつけたベスト着用は体が重く、足の錘で足が上がりずゆっくり歩きになる。ヘッドホンによる難聴体験は大きな声で話してほしいなどの気づきがありました。これらの疑似体験は、介助してほしい当事者の多様な理解につながりました。

## 4、5月トピックス

### 行事報告



今年度の専任教員集合

### 1・2年生交流の歓迎会が開催されました (4/5)

4月5日(木)に、こども教育学部2年生が企画し「新入生歓迎会」を開催しました。企画・進行担当の学生が、学年をこえて楽しく交流できるゲームを考えてくれました。ゲームの後はお菓子パーティーを行い、少しの時間でしたが、新入生の皆さんと交流を持てたと思います。1年生の皆さんも、初めは緊張していたようでしたが、少しずつ会話をしていくうちに笑顔が見られてきたので、とても良い「新入生歓迎会」になったと思います!これから、養護教諭・幼稚園教諭等を目指していく後輩たちの成長にも期待したいと思います。(柗井、駒田、真保:大久保ゼミ)



当たった! 当たった!



ルールの説明を丁寧に



お菓子をほおぼって語りました

### 学生紹介

イメージキャラクター  
よろこびちゃん



4月25日(水)強化クラブへ支援金贈呈式があり、理事長・学長からの激励がありました。本学部の新入生にも硬式野球部と女子バレーボール部に所属する学生がいます。今回は、幼児教育学専攻の野球部2名に意気込みを語っていただきました。中野くん(右):背番号33、外野手・左投げ左打ちです。野球と勉学を両立させ、どちらも良い結果を出せるようがんばります。この4年間で成長し、常に向上心を持ちながら有意義な時間を過ごしたいです。東尾くん(左):背番号34、捕手です。本学部に野球部所属は少ないですが、協力しあって勉強と部活動を両立させます。最終目標は幼稚園教諭と神宮大会に出場することです。4年間がんばります。



### あとがき



平成30年5月10日発行  
鈴鹿大学  
こども教育学部通信 07号

3月27日の入学前スクーリング(上記写真)のときは、緊張していた新入生の皆さんも、入学後1ヵ月を過ぎ、すっかりリラックスして過ごしているようです。今年度の「こども教育学だより」がスタートしました。保護者の皆様や本学部に関心を持つ方々に、こども教育学部の「いま」をお届けします。どうぞよろしくお願いたします。(TK)